



夏見台幼稚園・保育園 ニュースレター 2024.7.25 号

夏見台幼稚園・保育園でのこだわりをニュースレターにまとめます。どうぞご覧ください。
※配信停止の方はメールでどうぞ (info@treponte.jp まで)

〒273-0866 船橋市夏見台 2-16-1 夏見台幼保園

「甘え」のポジティブな面について

不登校が増えています。長らく日本を支えてきた教育制度は修正を迫られています。スクールカウンセラーの配置は増加しているにもかかわらず、その解決にはなっていないようです。

今回取り上げる本は『システムティックアプローチによる学校カウンセリングの実際』(創元社)です。30年以上前のもので、まだスクールカウンセラーが存在しない時代です。その業務は担任が行っていました。そんな時代の、和歌山県教育委員会での実践の記録です。

著者の一人、薮添隆一先生は高校の国語の先生を経て、教育員会で当時珍しい「相談主事」に着任します。若い頃より行ってきた心理学の勉強が生かせるポジションでした。

薮添先生の仕事は「先生へのアドバイス (スーパーヴァイザー)」です。各学校からの相談が寄せられ、それに対応していきます。

私にはこの案件が勉強になりました。小5男子、旧家の子ども、過緊張、問題行動多し。トイレなどに隠れて出てこない。仕方なく担任の先生はひたすら待ち続けます。すると子どもはひょっこり出てくる…。

「なぜ待つことが有効なのでしょう？」

と担任の先生は薮添先生に尋ねます。すると、



**「じっと待つことは疲れるでしょう？
心のエネルギーをあげているからです
待つこと、見守ること、許すことは
相手に心のエネルギーをあげることで
だから疲れる、その代わりに
相手は豊かに元気になる」**

相談主事 薮添先生



確かに「待つこと」は疲れます。イライラもします。しかしそれは相手の心へのエネルギーになっているという発想は新鮮です。さらに、

**「赤ちゃんの時から要求を待って見守って
無条件に要求することを許されたことが
ないのかもしれない」**

**「甘えを受け入れてもらうことは
エネルギーをもらうことと
同じなのです」**



その旧家の男の子は厳しく育てられたのかもしれないと幼児期のことに触れています。

甘え＝エネルギー

と考えたことがなかったのでこれも新鮮でした。甘えというと「甘えるな！」とか「甘やかす」などのネガティブなイメージが強かったのですが、これは実にポジティブです。

上手に甘えることのできる子どもであってほしいと思います。それはきっと可愛げのある子どもなのでしょう。そうして成長したときに、上手にエネルギー補給のできる人になってほしいです。

社会人でも、周りの人に「ヘルプ！」が言えない人がいます。責任感が強いのか、他人を信頼できないのかわかりませんが、こうした人は

疲弊していきます。エネルギーが補給できないからです。人に甘えられないからです。

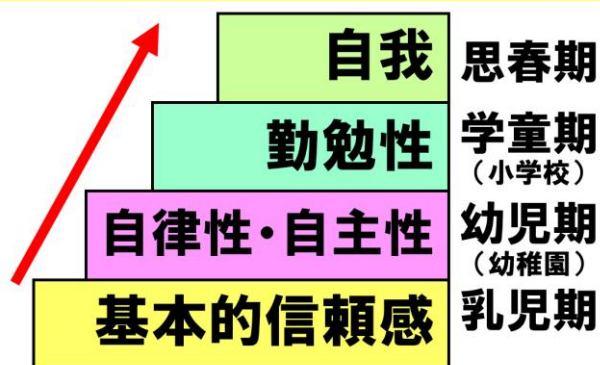
もちろん安易に何でもかんでも甘えられては困りものですが、いい意味で「甘え上手な人」はきっと、「渡る世間は鬼ばかりではない」といったまわりへの安心感があるのでしょう。その根幹が幼児教育にあるのです。



この写真は私たちの園の0歳クラスの食事風景です。私たちの園では乳児（0～2歳）は「育児担当制」を敷いています（単に「担当制」とも呼ばれています）。遊び以外の生活面（食事・着脱・排泄）は、1年間担当者を変えません。園での「ママ」を固定します。

これは心の発達の第一段階である「基本的信頼感」を育むためです。人間関係の基本は、母と子の1対1の関係から始まります。もしママがコロコロ変わったら、赤ちゃんは落ち着かないでしょう。もちろん「甘え」することもできません。エネルギーが枯渇していきます。

「心の発達」に飛び級はない



この図は心理学者のエリクソンが提唱した「ライフサイクル理論」の一部です。成長のそ

れぞれの時期に、経なければならぬ発達課題があり、最初に乳児期の「基本的信頼感」があります。

ここで信頼できる大人との関係を築けると、幼児期に自律性（心のコントロール）が芽生えます。安心できるから心を制御できるのです。甘えられるからエネルギー補給できるのです。

話は変わりますが、「根拠のある自信」と「根拠のない自信」の違いについて取り上げます。根拠のある自信とは、例えば〇〇大学卒とか〇〇の資格をとったことが自信の裏付けとなっているものです。しかしこれはそれよりももっとすごい学歴や資格を持った人の前では崩れてしまう自信です。

一方の「根拠のない自信」とは、人間関係が下支えになっているものでしょう。上手に人に甘えられて、適切にエネルギーが補給できていることです。だから崩れにくいのです。



**子どもは甘えることでエネルギーを得る
甘えられない子はエネルギーが枯れる**

最後に「甘えさせる」と「甘やかし」の違いです。前者は子ども中心の行動

です。子どもの要求・欲求をキャッチして甘え（エネルギー）を与えます。しかし後者は、大人中心です。子どもの意向に関係なく、大人の都合で甘えを与えることです。子どもにエネルギーは届いていないようです。子どもを上手に甘えさせることは大切なことだと思いました。（終）